

2億円の追加となっております。

次に2、今後の事業費についてでございますが、令和6年度以降に必要な事業費といたしましては、約236億円となっている状況でございます。

その財源の内訳といたしましては、国庫支出金等として121億円、合併特例債が約109億円、一般財源が約6億円となっている状況でございます。このうち、本事業に活用を予定している合併特例債については、今回の増額額に対し、0139号線に充当できる費用といたしまして、63億円に比べ約46億円が不足する見込みとなっている状況でございます。

このようなことから、まずは、トンネル工区の事業を優先的に整備することといたしまして、内示率の高い国補事業や、交付税措置率の高い起債事業、例えば原子力発電施設等立地地域振興特別事業債といった国庫支出金等の新たな財源の確保に向けて、国や県との調整を進めてまいりたいというふうに考えてございます。

説明は以上でございます。

○議長 ただいまご説明がございましたが、何かございましたらご発言を願います。

議員。

○議員。

何点か質問します。まず、最初に、先日、産業建設委員会を行ったんですけども、この説明の前に、要するに補助金が減額になるというような事態が発生して、12月議会でそれをかけるということで、そのときで一緒にこれらのことも前段で、例えば、いろんな委員会でも市長さんや議員さんには説明しろって言わずとやってきたけど、その委員会に説明した上で出さないで今回出したというのは、大変、そんな説明の段階で、おかしいんじゃないかなってのが1点。それどういうことというのと、もう1点は、やっぱり、当初からこれぐらいかかるというのは、我々一般の議員も予測していたというか、いろんな情報入ったんですけども、ここまでなったっていうんで、その中でトンネルの工事費というのが、私はこれ以上にかかっている可能性があるんじゃないかと、かかる可能性があるんじゃないかと。要するに、今までの感覚でいったらこういう工事でこれぐらいですよという形、もっと複雑に工法的に出水が出たり、そんな形が出るともっとかかる可能性がある。そういうのに対してこのままでいけるのかというのと、それはちょっと不確定要素だから、まだ全然検討に入っていないのもどういうふうなのかというのと、あともう1点は、こんなにかかるのに、財政の今の説明でお金の持っていく方の説明があったんですけど、いや、これから、例えば原子力の関係をいただきますとか、そういう形でこの236億円、それを進めていって、危険というかそういうのを感じないのかと。私たち議会も、それを認めるものとしては、承認する側としては、大変負担が大きいというのは、その中できちっとやっぱりもう少し詳細に説明していって、どうするかというのを決断する準備がないかなって思うのがあるんですけど、その辺どういうふうに考えるのかと、もう一つ、やっぱり半年ぐらい前に情報として入ったんですけども、トンネルの入り口周辺の土地を買いあさっている建設業者がいるというんだけど、それは知っていたか知らなかったか、それが1点。今までの何点かご質問に対してご返答願います。

○議長 答弁を求めます。建設部長。

○建設部長 建設部長でございます。

1点目、産業建設委員会のほうで、本来この内容についてご説明を丁寧にして、全員協議会を迎えたいということもございました。最後のご指摘にもありますように、この財源不足に対する方法論として、ちょっとぎりぎりまでどういうご説明ができるかということでご調整をさせていただいた点もございまして、大変申し訳ありませんが、今日のご説明となってしてございま